

小林正人さん

ハーモニカとマスターズ陸上の両分野でアジアチャンピオンとなったことの報告 (令和5年12月28日)

ハーモニカ奏者でマスターズ陸上競技者の小林正人さんが、令和4年10月の「第13回アジア太平洋ハーモニカフェスティバル2022」へ参加し、シニア部門の10(テン)ホールソロで優勝(2連覇)、クロマチックソロで第2位となりました。

その他、令和5年1月に東京での「第2回全日本ハーモニカ演懐コンクール」へ出場し、伴奏付きソロ部門で優勝、同年7月に堺市での「西日本ハーモニカコンテスト」へ出場し、フリーソロ部門で優勝、同年8月にソウルでの「第9回ソウル国際ハーモニカフェスティバル」へ出場し、シニア部門のジャズソロで優勝、クロマチックソロで優勝、ブルースソロで第2位となりました。

また、マスターズ陸上では、同年11月にフィリピンでの「第22回アジアマスターズ陸上選手権大会」に出場し、M65(65～69歳の部)の走り幅跳びで優勝されました。

ハーモニカとマスターズ陸上の両分野でアジアチャンピオンとなった報告のため、市長を表敬訪問されました。

○ハーモニカ大会成績

第13回アジア太平洋ハーモニカフェスティバル2022に参加

10(テン)ホールソロシニア部門優勝(2連覇)、クロマチックソロシニア部門第2位

※北京で行う予定でしたが、コロナのため、今回は動画提出での審査

○マスターズ陸上大会成績

第22回アジアマスターズ陸上競技選手権大会に出場

M65(65～69歳の部)走り幅跳び優勝

開催日 : 2023年11月8日～12日

開催場所 : フィリピンニュークラークシティ

大会概要 : 1980年から2年に1度開催。アジアマスターズ陸上最大規模の大会
アジア22か国から1309名が参加。今回日本からは78名が参加

【小林正人さん プロフィール】

富士市在住。5歳からハーモニカを伝法の故遠藤紀男(としお)氏に師事。大学時代は日本ハーモニカ界の第1人者、崎元譲(じょう)氏に師事。その後、ほぼ独学でハーモニカを続け、コンテストで多数優勝。2000年には日本で最大規模のF.I.H.JAPANハーモニカコンテストで総合グランプリとなる。平成14年度富士市教育文化スポーツ奨励賞を受賞。2017年ドイツでのワールドハーモニカフェスティバルのソロクロマチックジャズ部門で第5位。2022年アジア太平洋ハーモニカフェスティバルの10(テン)ホール部門で優勝(2連覇)。2023年川勝平太静岡県知事に表敬訪問。同年日本のコンテストで2大会優勝。同年ソウル国際ハーモニカフェスティバルに3部門出場、優勝2部門第2位1部門。

陸上は、小学校から大学まで続ける。社会人では、市内大会等に出場。30歳前半からマスターズ陸上大会に参加。2008年全国スポレク大会4×100mリレー優勝。2013年国際ゴールドマスターズ京都大会M55(55～59歳の部)走り幅跳び第3位。2018年世界マスターズ陸上マラガ大会M60(60～64歳の部)4×100mリレー第4位。2023年全日本マスターズ陸上山口大会M65(65～69歳の部)100m第4位。同年アジアマスターズ陸上選手権フィリピン大会M65(65～69歳の部)走り幅跳び優勝。

ハーモニカとマスターズ陸上の両分野でアジアチャンピオンとなる。

表敬訪問の様子

